

# 市長から市民のみなさんへ

72

山陽小野田市長 白井 博文

## 市役所内で進んでいる計画等について

昨年、策定された「総合計画」は、今後の市の進む道標のような役割を果たすものです。この"10年計画元年"にあたる平成20年度は、この計画に基づいた事業がすすめられる一方で、長期的視野にたった計画づくりなどもはじまっています。今回のコラムではそれらの協議の進行状況について、ご紹介させていただきます。

### ●交通活性化計画

今あるバス路線の見直しを行い、一人でも多くの方、特に高齢者の方へ配慮した、より便利な市内交通の提供を目指し、大型バスの小型化、バスとタクシーの中間のような乗り物の活用など具体的協議が進められています。平成21年3月策定予定です。

### ●都市計画マスタープラン

総合計画に基づいて、これからの都市計画のあり方について定める計画です。具体的には、市のそれぞれの地域の特性にあわせて、土地利用や都市施設(道路・公園・下水道など)のあり方を示すものです。こちら平成21年3月の策定目指して協議がはじめられました。

### ●土地開発公社の健全化

市の外郭団体である土地開発公社が取得したまま未整理の土地の処分方法について、具体案をまとめるように指示したところ。子どもや孫の代まで先送りせず、健全化を目指します。

### ●市民病院について

地域医療の中における公立病院の役割に再検討を求める指針(公立病院改革ガイドライン)が国から示されました。3月に山陽小野田市民病院として再出発したばかりですが、新病院の建設を視野に入れつつも、この地域における山陽小野田市民病院のあ

## 対話の日

【いずれの会場も19:00から】



5月22日(木) 共和台自治会館  
6月12日(木) 県漁協殖生支店ふれあいセンター  
6月26日(木) きらら交流館

るべき姿について検討を続け、改革プランを策定していきます。

### ●市の業務の積極的な民間委託について

市施設の利活用については、指定管理者制度や民間委託といった形での新たな手法がすすめられていますが、市役所内での事務事業についても、できる限り民間活用を図ることを目的に指針づくりがはじまりました。「市役所の本来の業務とは何か」という問について、真剣に考え、市役所と民間との役割分担を定めることとなります。「スリムで効率的な市政の運営」と繰り返し叫ばれている昨今、果たしてどこまで市の業務をスリムにできるのか、職員の大量退職の時期を迎えることとも関連して、たいへん重要な協議課題といえるものです。勉強会を重ねながら、この押し寄せてくる"新しい波"に立ち向かっていく必要があるようです。

と、少し難しい話を続けた後で、心温まる話題を一つ・・・先日、中央図書館に匿名で20万円の現金の寄附がありました。まだまだ十分な予算額とは言えない図書購入費の現状を哀れと思われたのか、また新図書館長への激励、期待をこめてのことなのか真相は不明ですが、いずれにせよ、深謝の気持ちにはかわりありません。「自然科学系の図書購入費に充てて欲しい」という贈り主のご意思是尊重します。改めてありがとうございました。